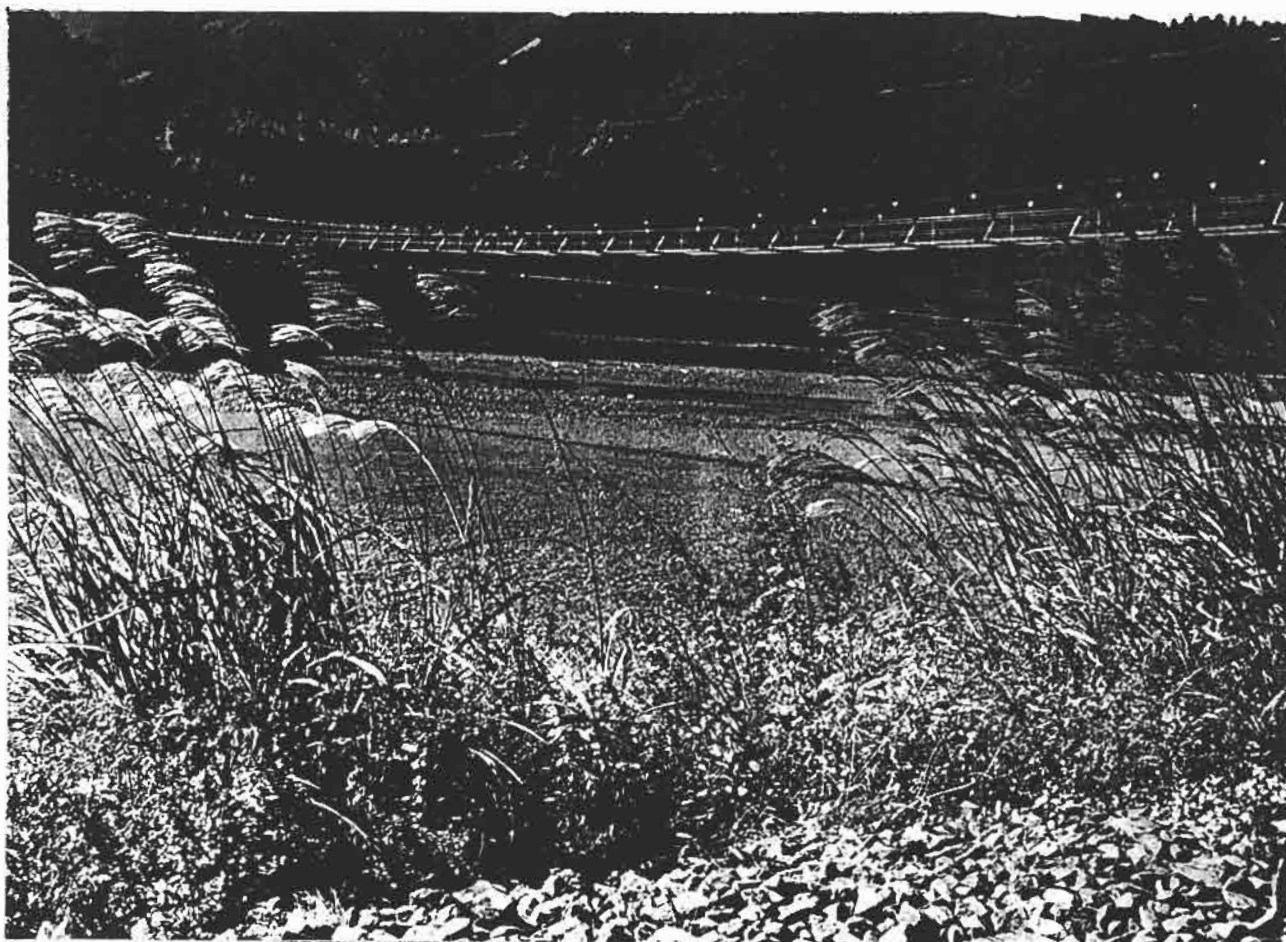


中川根ふる里通信

= 第 3 号 =

編集・発行・モア・ラフ中川根
連絡先
静岡県榛原郡中川根町上長尾 970
中川根町役場総務課
ふる里通信係
TEL・05475(6)1111
郵便振替口座〈名古屋〉7-81556



秋の川根路 塩郷駅附近より吊り橋、久野脇方面、写真提供 藤田 豊さん

連山からの冷気は、辺りを包み
今、川根路は秋たけなわ

五穀豊饒と平和を祈り

地域の誕生を願う

そして、感謝を込めて、慎ましくも

敬みに綴る。広げられる氏神様の

お祭りには、今、真っ只中の

中川根

大井川の川面を渡る金風に

そよぐすすきの穂は

千石平からの広大な錦織の

早稲が

紅葉の季節へと衣がえが

始まることを告げている

夕日に映し出された稜線の

果て無き彼方からは、又新たな

希望がやってくるのだと念じて

実りの秋は一応終焉

川根は静かに

冬の訪れを待つ、

原田金修



母校は今
地名小学校



阿弥院さん前道より、校門と職員室

地名小学校校歌

作词 戚 鹏 左千夫
作曲 本 津 文 彦



町内唯一となった木造校舎

地名小学校は、今年三月五日、百十三回目の誕生日を迎えた。

明治六年創立以来、地名の近代史を見つめ先導してくれた「我が母校」である。

明治二十五年、現在の地に移ってからすでに九十四歳、その時の校舎は数度の改修が加えられつつ、今も我々の後輩を育ぐくんでくれている。

北に大森山、大井神社と阿弥陀堂、南に大井川が蛇行する。西に目を向けると、十二町歩の田んぼが展がり、春は蓮華草のジュータンになり、初夏は早苗、そして秋は黄金の波打つ稲穂が、にわかに実る、水と緑に恵まれた、心のふれあいのある静かな学び舎。

阿弥陀さんの前を通る道に面した校門を入ると、左手に職員室と六年生の教室、「コの字型」に折れて五年生の教室と音楽室、運動場を囲んで南側に、一年生の教室、理科室、二年生、三年生、四年生の教室が連なる。

「自分をぐんぐん伸ばす子」を教育目標に掲げ、勉強する子、やりぬく子、きたえる子、緑に

親しむ子」を目ざして、馬淵校長先生を先頭に、教師八名、児童六十六名が奮迅している。

以前は、秋の運動会には、地名の祭が、みんな集まって楽しみ興じた運動場では、今日も地名に見たちの元気な歓声が、大森山にこだまする。

往昔、川根地域への物資の集荷場として繁盛し、また川根筋唯一の大きな水田を開発したり、大井川水系二番目の水力発電所が出来、人々の交通も多く、川根筋の文化の拠点としての誇りをもち、文化活動も活発な進取の気概旺盛な地域性は、この地名小学校から生まれ育った。

そして近年の科学技術の発達は、経済社会の変貌を促し、新しい時代の息吹きは、地名小学校の窓をも叩く。

地名語をひもとく、農業用水路開鑿（明治四十三年）電灯点灯（大正十三年）と先人が雄大な構想を画き、驚異のうちに感ずるにつけ、地名の二十一世紀を担う若き学校に寄せる期待は大きい。



昭和61年5月 地名小緑の少年団結団式より

中原惣一郎



大札山山頂より北東方面大パノラマ。(山犬段・南アルプス・安部奥・富士山と望む)

☆ 南赤石林道周辺の整備事業計画

(町産業経済課担当 長期構想)
尾呂久保から山犬段にかけて自然を利用した観光開発計画が進められております。
白羽山附近に自然遊歩道やロッジも近い将来作られようとしています。
美しい景観と動植物の宝庫をかねてきたこの地に、自然を求める人達に沢山来ていただくと共に、地元の人々の期待も大きい。

第1回中川根自然の森観覧会(5/1~5/4)に続き
第2回「もみじハイキング」が開かれます。

参加希望の方は 10月23日迄に、

中川根町役場産業経済課 TEL(05475)6-1111
までご連絡下さい。

第2回中川根自然の森観覧会

「もみじハイキング」参加者募集
いつ 昭和61年11月3日(文化の日)

どこで 大札山周辺

参加費 1,000円(含む保険料)

募集人員 50名

日程 大井川鉄道下泉駅集合(9:15分、マイバス)＝

開発センター(9:40分)＝ 山犬段 ＝

大札山登山口(登山)＝

もみの平＝ 開発センター ＝ 大井川鉄道

下泉駅 16:40分解散

持ち物 弁当・水筒・その他日帰りハイキング用品

主催 中川根町

後援 静岡大学付属演習林・志太橋原振興センター等

☆ 交通安全パレード(秋の交通安全週間)

交通事故0を目標に、全町上げて、
交通安全運動がくり広げられました。
9月27日(土) 参加団体 12、約250名。
パトカー先導、中央小学校鼓笛隊に続き、
各団体がスローガンをかけ、国道362号線、
高郷(NTT～中央小学校)地区をパレード
しました。中川根は、国道・県道共に交通量
も多く、最近、死亡事故も発生しております。
交通ルールを守って、住みよい町を造るのが
町民の願いです。



☆ 地名(西地名)水田区画整備事業

昭和61年8月11日～62年2月16日

先人が開拓した12町歩の水田が新しく
変わります。おいしいお米が沢山取れます。



☆ 榛原川の水が徳山地区の飲料水に

昭和63年完成予定

冬の湯水期、徳山地区は、何度も断水、給水制限を
されていましたが、本年、榛原川より、給水工事が始り、
水道管が万世橋までのびています。もうすぐ、徳山全戸へ
榛原川の水がとどきます。

☆ カンリレー実施(町保健衛生環境整理事業)

9月26日、町内主要道路沿で捨てられた
空き缶、ビン、ゴミ、不燃物一掃作戦が行なわれ
ました。集まった缶は、何と8000個。
町は美しく、変身しました。

(大人が守れば、子供も守る公衆道徳)



変る・かわる・中川根

お母ちゃん達は 頑張ってまーす



中川根町と徳山町が合併し、新しい中川根町婦人会が発足して、今年でちょうど三十周年にあたります。

私達 婦人会員も、故郷を離れていろいろな皆縁と同じように、大井川の清流と雄大な山々に囲まれた中川根町と、さながら愛のありまです。『思いやり いたわりあい 助け合い』を合言葉に、婦人会員一、二九六名は、地域の人々と交流する中で、暖かい仲間作りに努め、住み良い中川根の町づくり、活性化に少しでもお役に立てたらと頑張っております。

……中川根町におきましても、生活様式の多様化から、近年就労婦人が多くなり、買物と通信販売やカタログ販売が盛んになって、町外から業者が、ずい分と多勢入ってきて、毎年多額のお金が町外へ流出していき、中川根町の基幹産業であるお茶や、不稼働の低迷している今日、私達 婦人会では、小さな事から見通そうと、今年から町外業者の物品販売はすべてお断りし、お買物は町内でお願いします。……

……という運動を進めております。



中川根町の地域性を生かした活動として、毎年丹精をこめて作られた川根茶を、会員から百キロ近く寄付していただき、町内出身者がいつもお世話になっている各養護施設などへふるさと中川根の香りを届け、大変喜ばれております。

又、会友相互の親睦と教養を高めるため、昨年から町内十四の地区毎に婦人学級を開催しています。学習内容も地区毎に工夫し、手打ちそば作り、生け花、めなわ、わらわし作り、料理、ダンス、マナー、シミ組、民謡など、楽しくてためになる学習が、あります。

昨年、中川根町産業文化祭において、婦人会では『手打ちそば作り』の実演と販売を行いました。大変好評でした。現在、この『手打ちそば』はふるさと特産品販売店「四季の里」で多くの皆様に食われていた

あります。

今年も十二月二日(日)町におけろ産業文化祭には、昨年同様とぞおしい「ねんころばし」を皆様に食っていただくという計画しました。それに加えて、おはたさん入浴粉、お作ろうと、全員張り切り、あります。

旅心をそそぐられる秋の一日、澄み切った青空、紅葉に囲まれた皆様のふるさと中川根町に是非おきて下さい。皆様の心からお待ちしております。

中川根町婦人会の活動は？

1 町内出身者がお世話になっている施設への慰問茶の集荷

2 発展途上国の医薬品、医療機器等の購入など、医療援助活動資金になる古切手の収集

3 社会を明るくする運動の「愛の袋」の協力

4 夏、衣装、貸し出し

5 産業文化祭への参加

6 月一回の「ふんかいたより」の発行

7 婦人のひろばの発行

8 婦人学級と地区毎に開催

9 中卒就職者暑中見舞発信

10 交通安全街頭広報

11 日赤静岡病院へ奉仕活動

12 寝たきり老人見舞、衣期療養者慰問

13 大井川清流祭、盆踊り、ハサリ協力

その他、地域と密着した活動と、中々行なっております。

編集者より
毎月発行されております「ふんかいたより」を同封致します。あわせて御覧下さい。

会長 渡辺妙子(ハチ)



太田 二郎先生逝去



生前の太田二郎先生

攝影
諸田等三人

ひそやかなる一徹

長塚 誠

九月六日、華儀に列席させていた。華儀
中、大泉院は激しい夕立ちに見舞われた。

お孫さん（靜岡市在住）の最後の言葉に「靜岡に来て、と何度もお願ひしたのに、体の具合が悪くなるまで来てくれたのか、たおしいやん……」とあります。

口では「静岡へ行く事になる」と言いつながら、好きな徳山を離れたくなかつた先生は、静岡市でやつとひと夏を越えただけに、急進してしまつた。

先生は意欲とか意志を前面に表わす人では
ない。静かな人であつた。私は『先生の事をへんやうに、一徹』
と思ひ続けていた。

教職を辞した後は独学で、川根の歴史を探索し、
『本川根町史資料編』を作り上げた。

根気のいる仕事で、強い意志がなくては、この様な仕事はたしえない。
先生の意志力にありためて、敬意を表したい。
地元の人間に、かうという御好意で、同、下衆、勝山守正さん宅での
古文書との数日間も、今では、なつかしい思い出です。空想、濟の語る私（ま
た）学生で、た）に先生は懇切丁寧に史料を、に、具体的に答えて、下さる
のでした。

今年三月「静岡県史」(現在作業中)の調査より、いりが最後の上つきあり。

先生の御遺稿を祈ります。



右「中川根町史資料編」(昭和50年刊)
左「本川根町史資料編」(昭和55年刊)

見渡すかぎり 植林された 中川根の美しい山林
長い時間をかけて 木を慈しみ育てて来た人々の
努力をよそに ここ数年の林業の冷え込みは 中川根
にも影を落としております。町面積の80%が山地と
なっているふる里は 今真剣にお茶と同じく 地場産
業の材業と取り組んでいる所です。

中川根町単位として『林業を考える会』中野幸久会長、
志太、榛原地区単位として『大井川村を考える会』川根町
松本健会長、等も出来、林業の振興の為に、良業
をねっております。

かつて、大井川材は、いかだで大井川を下りその後、
貨車で、トラップで、と、輸送され、大井川材と言う銘柄で
なく、天竜材、木曽材、三重材などとして市場に出され
たと聞きます。全国にほころ大井川材として、地元
の林業に携わる人々の努力と、消費販路を開拓する
事に、官、民、一体となって頑張らなければなら
ないと思います。

10月8日 =

官.民そろって
考えてまゐす



木の良さを見直そう！



大井川鉄道下泉駅と徳山駅に
ログ・キャビン風のトイレ。
——大井川材の良さを見直し、
よこさないように使いましょ——

よごさないように使いましょう――

よごさないように使いましょう――

下泉駅のトイレ

▲3E5のタイプ

木は山でも建物になっても長く生きます。町で作った！ 皆んなの為のものだから。



町内 催し 御案内

- 10月 5日 地名大井神社 祭典(毎年1日曜日)
 10日 徳山神社 祭典
 12日 田野口 津島神社 祭典(毎年2日曜日)
 15日 永川神社 祭典
 16日 瀬沢屋王神社、久野脇八幡神社 祭典
 17日 下長尾八幡神社 祭典
 20日 上長尾八幡神社 祭典
 22日 久保尾字向井地区日吉神社 祭典
 24日 久保尾 熊野権現 祭典
 25日 久保尾字厚山 天神様 祭典
 下泉 字 山々、小嶺 天満宮
 28日 尾呂久保 白羽神社 祭典
 11月 2日 中川根町産業文化祭
 3日 老町河内、文沢 八重垣神社 祭典
 7日 長野 松尾 山の幸神社 祭典
 16日 川根ふる里まつり(静岡市に於て)

夏の夜 もり上ったよ。

大井川清涼祭



8月23日、(16日 雨天)

上長尾前の大井川岸で、
 ほんおどりや、花火にバザー、夜店も出て、
 大へんな人出となり、夏の夜の一時、
 盛大に、大井川清涼祭 が行われました。
 金の16日を期待して、ふる里へ帰ってみたい
 皆様ごめんなさい、新企画の夏まつり、
 来年の再会を約束致します。



昭和61年度 中川根町産業文化祭

年に1度の町のまつりだよ——。

11月2日(日)にて 山村開発センター

中川根中学校。

主催 中川根町・各種団体。

テーマ

あそび

展示、絵、写真、ほんきい
 生け花、菊、etc...

商工まつり、

出店 やスイ
 バザー、
 抽選会 など

きてね

健康まつり、

あま酒サービス、
 ジャンボなわとび
 救急法、
 血圧 はかり

特産品コンクール

あまのアイディアを
 出してみよう
 竹、木製品、
 菓子、食料品、
 デザインなど

文化発表

中中、ブラスバンド
 川高ブラス
 コーラス、琴、
 など



土屋さんに話を聞
 いたり、あちこちで
 山頂まで来た、頂上
 には無線の基地、送
 電鉄塔が立っていた。
 樹木が大きく、
 見通しはよくない。
 やがて大平附近に
 町営?ロッジが建
 つのも知れないとい
 話も聞かれています。
 秋が深まっています。

蛇は清い水にしか住めないという。——皆で池へ、女
 衆の月のもの、よれものをすててみた。
 策は当って、大蛇は白羽山の方へ登り上った。山頂
 近くは大平という所があり、蛇の流水という水が湧
 いている所がある。そこで、池をふり返って見て、な
 かしがって涙をながしたという。
 その後大蛇はおは池(大平)を通り上長尾山下
 長尾、久保尾を通って、山づいに家山の野守の
 池に移り住んだという。
 ▲六丁年位前に家山のおはあさんに聞いた話だが、昔
 家山では、おろくほかり、大きな鯉が野守の池へ来
 たという。言い伝えがあり、池の大きな鯉を食う
 と病気になる、死んだりしたという。
 ▲尾と付く地名は尾根を表す外に、蛇の尾という
 意味の所が全国にあるとの事です。
 中川根でも、上長尾、下長尾、久保尾、中尾、松尾
 とあります。大蛇が蛇行して行くうちに、尾が
 ずんずん短くなり、大鯉に変身したのだという。

大井川も家山まで、鶴山の七曲りを中心に蛇行している。



大平より、接線林道、大札山方面を望む

ふる里の味と香りにとけず 御歳暮パック 受付中

東京や名古屋や静岡、その他私達がまだ行った事も無いところで生活していらつやる皆様、お元気で過ごしてらうか。ここ中川根で農作業や道路工事や、山仕事等で頑張っている私達も、その合間をぬって、中川根特産品販売所「四季の里」へ販売品を持って集まっております。今の季節はさつま芋も、拔菜・栗・梅干・よむきパン・手打ちそば・ちぢみジュース・風車・ゆかなど、店先をにぎわしております。

ふる里通信が皆様のお手元にとどく頃は、何のお品されるでしょうか。山はきつともみじの季節となるでしょう。さて「四季の里」では、御歳暮用品の仕度をしております。御世話になった方々に、自分のふる里の味をおくってあげて下さい。

手打ちそば	1P 300g入
よむきパン	3ヶ入
いもかわ	約100g
大根佃煮	100g
椎たけ	100g
こんにゃく	2ヶ
送料込	

一セット・二、三口口内也
申込×四 十一月三十日
発送×四 十二月二十日

申込み方法は
電話(口五五七五)六、一、五、四、二(朝 9:00 ~ 夕方 5:00 まで)
葉書 〒四二八、一、〇、三
静岡県榛原郡中川根町下長尾五〇七



定期購読のお願い
『中川根ふる里通信』は有料(1部 750円)発行です。皆様の定期購読申込みがこの通信の発行を支えます。ふる里出身の友人、知人に『中川根ふる里通信』を紹介して下さい。お申し込みは郵便振替口座をご利用下さい。

申込み先 〒428-03
榛原郡中川根町上長尾990
中川根町役場 総務課
ふる里通信係
振替口座
名古屋 7-81556
4号会費約400-
の振込みをおすすめします

皆様からの
お便り 待って
ます。又中川根の
案内などご入用
の時はご連絡下さい。
投稿もお受けします。

編集室より。
・あれほど暑かった夏の印象も今はすっかり消えてふる里は実りの秋をむかえました。3号発刊が半月ほどおくれてしまいましたが、申しわけありません。
・大井川清流祭は おじうくほとの人出でした。お盆に実行出来たら なお盛り上ったことでしょう。来年を若人達に 期待しましょう。又、今年のお盆はふる里に帰った人も多く、大井川原は、水あそびをする家族、子供達でにぎやかでした。地元小学校でも大井川水泳禁止をといってくれました。あとは、清流が元気に流れるよう、皆の力で努力しなければなりません。
・今年は、果物の豊作年と言われます。ふる里もあちこちの庭や、畑に次郎柿が枝もたわわに実っています。でも、からすは、田舎よりも都会が好んで近年めっきり数が少なくなっております。

川根ふる里まつり
ごあんない
川根三町で町のご自慢を持って静岡市でふる里まつりを行なうてから今年で五年目になります。
新聞やテレビで静岡方面在住の皆様御来場いただいでふる里を味わっていただいております。今年も盛沢山のふる里を持てます。是非静岡近來にお住いの方ふる里まつりにお出かけ下さい。
時 十一月十六日(日)朝十時ごろから
所 新静岡センター南口プラザ
おしるの
赤石太鼓 もちつき
ふる里産品即売 など
ゆるいばたでの語りも
たのしみです



大井川鉄道、S.L. オレゴンカーなど、いらつやうならいかでしよう。
印刷：川根印刷所(徳山)

秋の味覚 おち鮎
やな 漁 ご案内
下泉橋上の大井川で、鮎のやな漁が行われて、日曜祭日は特に大勢の人がやって来ます。大井川原に、そよ風とともに香ばしい鮎の焼けるにおいが広がります。
やな漁は十一月三十日迄やうています。問い合わせ先
電話(口五五七五)六、一、二、九、六
八木道之介さん

下泉橋より、やな漁場を見ると